

講習の名称	【選択】近代へといたるヨーロッパの道
講習の概要	ヨーロッパの近代社会は中世の封建的社会をすべて否定することによって成立したわけではない。ヨーロッパ独特の中世的、近世的な社会制度や文化のなかには、近現代社会の中に再生されているものも少なくない。近現代社会を考える上で重要だと考えるトピックスを、中世から近代成立期のヨーロッパ史の中に見だし、論じる。次の3つの論点を、ドイツ（ブランデンブルク）の場合に即して扱う。「1 中世社会のコミュニティ（村と町）」「2 近世の宮廷都市と宗教改革」「3 啓蒙の時代における公論と結社」
担当講師	山崎 彰（人文社会科学部担当教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 10 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	人文社会科学部 1 号館 207
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭（社会）、高等学校教諭（地歴）
受講予定人数	12 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	ノート、筆記用具
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②テストの得点が60点以上であること
評価の観点	講習内容を理解し、これについて社会科教育の専門家として独自の意見を述べるができること。
その他特記事項	